

□議員名：会派 新誠風 笹木慶之

1 第2次総合計画に基づく将来都市像について

論点	平成30年度から「笑顔と活力あふれるまちづくり」を将来都市像と掲げた第2次総合計画がスタートするが、現実的で実効性のある推進計画について伺う。
回答	実効性のある計画として機能させるため、まず、限りある財源を踏まえて事業の選択と集中を図る。評価点による事業の絞り込みに加え、有効性、優先性及び効率性などの観点から判断し、予算化する事業を最終的に選択し決定する。また、総合計画に対する職員の共通理解が必要と考える。最前線で実行する職員が、その意義及び方向性について共通認識を深めるよう職員研修を継続実行していく。

2 優先度の高い施策として重点的に推進する事業について

論点	スマイルUPの3本柱として取り組む重点施策は、人口減少対策・移住促進等の地方創生施策であり、有効的財源として国の交付金を活用すべきと思うが現状と対策について伺う。
回答	重点プロジェクトのうち平成30年度に取り組む特色ある新規事業は、山口東京理科大学の薬学部が今後研究を進めていく「未病についてのフォーラム」、「当該大学生への定住券配布による定住促進及び商業振興」、子育て総合支援センター「スマイルキッズ」の開所及び本市の魅力を発信するシティセールスなどである。これらの事業はご指摘の地方創生推進交付金を活用することとしている。

3 施策体系に沿った主な施策について

論点	平成30年度から放課後児童クラブの開所時間を土曜日、長期休暇中について30分早めたことは実態に即応した的確な対応と評価する。しかし、女性の社会進出と就業時間の実態から閉所時間の延長を必要とする希望多くある。今後の対応について伺う。 併せて、厚狭小学校区の待機児童の対応についても伺う。
	閉所時間は現在18時までの時間延長を行っているが、さらなる時間延長の要望があることは把握している。しかし、保育士等の資格を要件とする児童クラブ支援員確保に苦慮している現状で、早急な

回答	<p>実施は困難である。今後、支援員確保策も含め、委託事業所とも協議しながら18時以降の時間延長についても検討していく。</p> <p>また、現在、待機児童の生じている厚狭児童クラブについては、新たに運営を委託し、1クラス増やす予定であり待機は解消される見込みであるがまだ受け入れのできていない高学年については今後さらなる拡充を検討していく。その他、来年度も待機児童の発生が見込まれる高千帆児童クラブ及び高学年の受け入れができない6クラブについても、現在、課題解消に向けて方策を検討している。</p>
----	--

論点	<p>地域医療体制の安定的確保における厚狭准看護学院の評価と市の対応について伺う。本学院は看護師の地元定住のみならず、多面的な機能を果たしていると思うがその認識についても併せて伺う。</p>
回答	<p>厚狭准看護学院は、今日まで、地域医療を担う看護職員を養成してこられ、平成27年度、28年度卒業生についてみると、約半数はキャリアアップとして看護師免許取得を目指し進学し、その他の方は就職されている。就職された方の半数は市内に就職されている。</p> <p>雇用の観点からは、女性の就労確保、看護師不足の解消の一翼を担っており、また、医療現場の観点からも、准看護師の必要性は高いと思う。市としても准看護師を養成する本学院の意義を踏まえ、今後も支援を継続していきたい。</p>

論点	<p>通学路の安全確保について担当課の努力は認めるが現状は厳しいものがある。また、市道に三角コーン「路肩注意」等の標識が長期間設置されている箇所を多く見かける。事故が起きてからでは手遅れである。現状を踏まえ通学路の安全対策と市道の管理について、今後の対応を伺う。</p>
回答	<p>通学路の安全確保の取り組みについては、平成24年度に全国で発生した登校中の児童生徒の事故を受け、関係機関合同による緊急点検を実施し対策を講じてきた。平成27年1月には通学路の安全に関する指針、山陽小野田市通学路交通安全プログラムを策定しさら</p>

	<p>なる安全性向上の推進に努めている。取り組みの具体例として、毎年7月に通学路安全推進会議による協議、8月に関係機関合同点検による確認及び2月には2回目の通学路安全推進会議において進捗状況を協議している。今後も通学路の危険箇所については、重要な課題として取り組み早期な対策完了に努める。市道の維持管理については、適宜必要な措置を講じているが、維持補修工事を実施すべき箇所があることも承知しており、安全な交通環境の提供に努める。</p>
--	--

<p>論点</p>	<p>梶漁港の浚渫の取り組みは極めて重要な事業であり、生活をも脅かす漁業関係者の窮状をいち早く解決しようとする藤田市政の対応は高く評価、深く感謝されるものと思う。平成30年度で完了するとは思えないが今後の対応を伺う。</p>
<p>回答</p>	<p>漁港や海岸保全施設の整備に加えて漁業者の就労環境の向上や、就業時間増加を図るため、梶漁港の浚渫を行う。梶漁港は、厚狭川の下流という地形上、土砂が堆積しやすく、干潮時には漁船が出入港できない状況となっている。港内の浚渫工事を行いこの解消を図る。</p>

<p>論点</p>	<p>学びの場の環境を整えることは、子育てから若い世代への人口定住コミュニティスクールを通じた地域の活力につながる即効薬と考える。老朽化した学校の適切な維持管理について、建て替えも含めた実施計画について伺う。また埴生小学校の普通教室のエアコン設置に取り組まれるが、他校の取り組み計画について伺う。</p>
<p>回答</p>	<p>学校施設の維持管理については、学校や地域からの要望に基づいて児童生徒の安全性の確保等、緊急性、必要性が高いと判断したものを優先し対応している。ただ、老朽化が進み、要望件数は増加傾向にありすべてに対応できていない。施設状況に応じ維持管理実施計画にて対応しているが、今後はさらに幅広く捉え対応していく。建て替え等については、学校施設の整備計画を別途作成する。施政方針において、建設中の埴生小学校の普通教室にエアコン整備の方針を述べたが、その他の学校については、埴生小への整備を契機に行</p>

	っていきたいと考えている。多額の財源が必要であり、財政の健全性を保ちつつ、どのように実現していくか教育委員会と検討したい。
--	---